



PP\_FS #11, 2015, 紙袋 ©Motohiro Tomii, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

## 富井 大裕

### 像を結ぶ

会期：2017年2月1日（水） - 3月11日（土）

会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿 #206

営業時間：12:00-19:00 定休日：日、月、祝日

トークイベント：2月10日（金）18:00 - 19:30 ※要申込

富井 大裕 × 星野 太（美学・表象文化論／金沢美術工芸大学）

オープニングレセプション：2月10日（金）19:30 - 20:30

※トークイベント及びオープニングレセプションは展覧会初日ではありません。お気を付け下さい。

2017年2月1日（水）より、Yumiko Chiba Associates viewing room shinjukuにて、富井大裕の個展「像を結ぶ」を開催いたします。

富井は、レディメイド（=既成品）を作品の素材として「彫刻」の概念を成立させる試みをしてきました。素材そのものが備えている機能、条件、存在定義を制作という行為によって新しいものへと変化させ、全く異なる存在として我々の眼前に提示します。それは、素材から全ての意味をはぎ取ると同時に、素材の物理的な要素のみで作品を完成させることによって、物語性にもイメージ性にも形にも頼ることのない、真の意味で自立した作品を作ろうとする行為でもあるのです。長い歴史の中で「彫刻」と言われてきた従来のイメージから離れた方法で、素材にこだわることなく彫刻のあらたな可能性を探求する姿勢は、twitterにて毎日更新される「今日の彫刻」シリーズや、複数の素材を結合させた彫刻のシリーズ、印刷物を用いた代表的な作品にも表れています。

富井は、2015年度に、アメリカ/ニューヨークに文化庁在外派遣研修員として滞在しました。1年に渡った滞在は、「彫刻とは何か」という富井が持ち続けた問いかけの根幹を、より揺さぶることになりました。

本展では、帰国後初の個展として、ニューヨークで制作した新作を展示します。より確信的になった素材へのアプローチによって、その表現はさらに構造的なものへと発展しています。

進化を続ける富井の新作を、是非ともご高覧ください。

尚、展覧会に合わせ、星野太氏（美学・表象文化論／金沢美術工芸大学）を招いて、作家とのトークイベントを予定しております。合わせてご案内いたします。



## ■作家ステートメント

この2年、放っておくと溜まってしまう物を作品にしている。紙袋、ビニール袋、封筒、なんとなく気になって手に入れた便箋、購入した商品のパッケージなど。「こういうこともありかしら」という直感から始めたことであった。私は、それまで素材を選ぶことにかけてはかなりの慎重派で、その後の素材との付き合いも厳密な方であった。言ってみれば「お堅い作家」であった。「堅さ」は私の性情によるところも大きいので簡単に変えられるものではないが、このまま「お堅いやり方」にしがみつくと必要性も現在は無い。そんな時、せこいことは考えず直感に従いやってみるのもよからうということで紙袋などを使い始めたのである。以下は、そんな「制作」から考えたこと。

物を本来の用途から切り離し、作品の素材として扱うことは特別なことではない。美術史におけるアッサンブラージュやコラージュ、絵画教室やテレビ番組における工作。物は、表現に関する多くの時と場面において「使われて当然」の体で素材という既得権を主張している。私は、表現の場において物が発する「素材の有効範囲」からなるべく離れたところで物を作品にしたいと思った。このことが、物と関わる表現において相当の矛盾をはらんでいることは承知の上だ。

物にへばりついている役割やイメージ（果たすべき目的や期待される使命）とそれらを表明する外観——これを仮に「Aな諸々」と呼ぼう——を変形、除去することなく別の形——「Bな諸々」——に仕立て上げることで、別の局面——「Cな諸々」——に移行すること。AとBが並行して滲んでいるCな諸々。わからない存在でありながら、存在していることが何となく許される何かへ。

そんな何かへ物を仕向けることを目論みつつ物に対処し続ける。これを制作と呼んでもいいのだが、ここではひとまず「像を結ぶ」と呼んでおきたい。

以上。美術の現場においては既に使い古された口上かもしれないが、まだここに面白さがある。ならばやるべきだと、私の直感が告げている。

2016年11月

富井大裕

## ■トークイベント

日時：2017年2月10日(金) 18:00-19:30

会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

富井 大裕 × 星野 太（美学・表象文化論／金沢美術工芸大学）

\*参加費無料、事前申込制、定員20名

### 星野 太（ほしの・ふとし）

1983年生まれ。美学、表象文化論。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。現在、金沢美術工芸大学講師。共編著に『The Sublime and the Uncanny』(UTCP、2016年)、現代美術に関する著書に『奥村雄樹—ジュン・ヤン』(美学出版、2013年)、『コンテンポラリー・アート・セオリー』(共著、イオスアートブックス、2013年)、『キュレーションの現在』(共著、フィルムアート社、2015年)などがある。

### 【お申し込み方法】

件名「トークイベント参加」、本文に、参加人数、お名前、電話番号をご明記のうえ、[event@ycassociates.co.jp](mailto:event@ycassociates.co.jp) までメールでお申し込みください。

\*定員(20名)になり次第、受付を終了いたします。

\*ギャラリーからの返信メールが届かない場合は、営業時間内にお問合せください。



■オープニングレセプション

日時：2017年2月10日（金）19:30-20:30

会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

■その他

富井大裕は、現在、東京大学総合研究博物館インターメディアテク研究部門主催の「Perspectives 01 パースペクティヴ 現代美術実験展示」へ参加しております。

「Perspectives 01 パースペクティヴ 現代美術実験展示」

会期：2017年1月24日（火） - 3月26日（日）

会場：インターメディアテク3階「バルコニー (HOMAGE)」

（千代田区丸の内2-7-2 KITTE 2-3F）

ディスカッション・イベント

2017年3月3日（金）

「学術研究と芸術表現の比較1（立体作品）」

松原始（東京大学総合研究博物館インターメディアテク研究部門特任准教授/動物行動学）

今井紫緒/ 富井大裕/ 藤原彩人/ 菊池敏正

時間：18:00-（17:45 開場、19:30 終了予定）

会場：インターメディアテク2階「レクチャーシアター (ACADEMIA)」

（JR 東京駅丸の内南口から徒歩1分/ 丸の内線東京駅地下道より直結）

**■作家プロフィール****富井大裕（とみい・もとひろ）**

美術家

1973年 新潟県生まれ

1999年 武蔵野美術大学大学院造形研究科彫刻コース修了

2015年 文化庁新進芸術家海外研修制度派遣研修員としてニューヨーク（アメリカ）に滞在

第4回アート公募 2000 審査員大賞受賞

**【主な個展】**

- 2015 「粘土の為のコンポジション」 Yumiko Chiba Associates／東京  
2014 「SHOW-CASE project No.1：3個の消しゴム」 慶應義塾大学アート・センター／東京  
「デイリーコンポジション」 アートセンター・オンゴーイング／東京  
「繊維街 日本橋」 NICA／東京  
「SHOW-CASE project No.0：Blind Composition」 慶應義塾大学アート・センター／東京  
2013 「直線と周囲」 switch point／東京  
『「combine」 -still-』 Yumiko Chiba Associates／東京  
2011 「色と形を並べる」 ラディウム・レントゲンヴェルケ／東京  
2010 「つくるために必要なこと」 金沢美術工芸大学アートギャラリー／石川  
2010 「catch as catch can」 現代 HEIGHTS Gallery DEN／東京  
2010 「STACK」 NADiff Gallery／東京

**【主なグループ展】**

- 2015-2016 「アーティスト・ファイル 2015 隣の部屋ー日本と韓国の作家たち」 国立新美術館／東京  
韓国国立現代美術館（果川館）／韓国  
2015 「単位展ーあれくらい それくらい どれくらい？」 21\_21 DESIGN SIGHT／東京  
「エディション・ワークス Prints & Originals」 GALLERY SPEAK FOR／東京  
2014 「メルド彫刻の先へ[彫刻と記録]」 前橋文化研究所／群馬  
「複々線」 現代 HEIGHTS Gallery DEN／東京  
「柳瀬荘アート・教育プロジェクト"アウエーゲームー茶碗に勝てるかー"」 柳瀬荘／埼玉  
「愉快」 現代 HEIGHTS Gallery DEN／東京  
「開館20周年記念 MOT コレクション特別企画コンタクト」 東京都現代美術館／東京  
「Drawing03 ーpreference」 渋谷画廊／東京  
「道草」 現代 HEIGHTS／東京  
「AGAIN-ST 第4回展「置物は彫刻か？」」 東北芸術工科大学／山形  
「開館20周年記念 MOT コレクション特別企画クロニクル1995ー」 東京都現代美術館／東京  
「竹尾パーパーション 2014『SUBTLE』」 TOLOT／東京  
「白川昌生 ダダ、ダダ、ダ 地域に生きる想像☆の力」 アーツ前橋／群馬  
「ニイガタ・クリエーション 美術館は生きている」 新潟市美術館／新潟  
2013-14 「MOT コレクション第2部 つくる、つかう、つかまえる ーいくつかの彫刻からー」 東京都現代美術館／東京  
2013 「引込線 2013」 旧所沢市立第2学校給食センター／埼玉  
「Omnilogue：Your Voice is Mine」 シンガポール国立大学美術館／シンガポール  
2012 「開港都市にいがた 水と土の芸術祭 2012」／新潟  
2011 「再考現学/Re-Modernologio phase2:観察術と記譜法」 国際芸術センター青森／青森  
「呼びとめられたものの光」 名古屋ポストン美術館／愛知  
「横浜トリエンナーレ 2011 OUR MAGIC HOUR 世界はどこまで知ることができるか？」 横浜美術館、日本郵船海岸通倉庫／横浜  
「MOT アニュアル 2011 Nearest Faraway | 世界の深さのはかり方」 東京都現代美術館／東京  
2009 「変成態ーリアルな現代の物質性」 Vol.2 富井大裕×中西信洋「揺れ動く物性」 ギャラリーαM／東京

**【パブリック・コレクション】**

東京都現代美術館

【本展に関するお問合せ】 ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。画像データの御依頼等は下記までご連絡下さい。

ユミコチバアソシエイツ 担当：宮中由紀

オフィス：〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿 #316 [Tel] 03-6276-6731

[e-mail] [info@ycassociates.co.jp](mailto:info@ycassociates.co.jp) [website] [www.ycassociates.co.jp](http://www.ycassociates.co.jp)

[営業時間] 12:00-19:00 [定休日] 日・月・祝日